

放射能関係のお知らせ

2016年12月1回(D週)
お届け日:2016/11/28~12/2
発行日:2016/11/14



本誌は、カタログ掲載の青果について、11/10(木)午前中までの放射能自主検査の結果をお伝えしています。

●青果 放射能が検出されていない産地(セシウム 134,137 それぞれ 3Bq/kg 以下)

分類	品目名	放射能検査の状況	
果実	いちご	品目で検査済	とちのみ
		検査予定	たまつくり・はが野・うつのみや・佐原・遠州
	梨	検査予定	新潟梨の会
	みかん	品目で検査済	小田原・久望
	洋なし	品目で検査済	天童・さくらんぼひがしね・錦の会・山形マルタ
		検査予定	増野・野沢
	りんご	品目で検査済	八峰園・ゴールド農園・雄勝・天童・米沢郷・さみず・青木・サンファーム
		品目で検査済	茨城・野菜くらぶ・村悟空・佐原・サンド旭・和郷
	きゅうり	品目で検査済	谷田部・沃土
		果菜類で検査済	谷田部・沃土
果菜	スナッペンどう	検査予定	南伊豆
	トマト	品目で検査済	野菜くらぶ・八街
		果菜類で検査済	茨城・元気会・沃土・村悟空・佐原
		検査予定	うつのみや
	ピーマン	果菜類で検査済	谷田部・茨城
	ミニトマト	品目で検査済	茨城・あゆみの会・元気会・サンド旭
		果菜類で検査済	野菜くらぶ・沃土・村悟空・八街・和郷
	大葉	品目で査済	和郷
	キャベツ	品目で検査済	たまつくり・海上
		葉菜類で検査済	谷田部・茨城・野菜くらぶ・沃土・村悟空・佐原・八街・和郷・風土の会・南伊豆・遠州
		検査予定	埼玉産直・三浦EM
葉菜	クレソン	品目で検査済	フォレストファーム
	小松菜	品目で検査済	谷田部・茨城・有機農法ギルド・野菜くらぶ・群馬モグラ会・沃土・南埼玉・佐原・八街・風土の会
		葉菜類で検査済	たまつくり・やさと・草の会・和郷
	サニーレタス	葉菜類で検査済	谷田部・茨城・有機農法ギルド・野菜くらぶ・沃土・海上・八街・和郷・風土の会
	春菊	品目で検査済	夢みなみ
		葉菜類で検査済	有機農法ギルド・たまつくり・レインボー・あゆみの会・うつのみや・沃土・村悟空・佐原・サンド旭・八街・和郷・風土の会
	ターサイ	葉菜類で検査済	谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・風土の会・遠州
	チンゲン菜	品目で検査済	こまち・あゆみの会・遠州
		葉菜類で検査済	茨城・沃土・佐原・和郷
	にら	品目で検査済	元気会
		葉菜類で検査済	茨城・野菜くらぶ・和郷
葉菜	ねぎ	品目で検査済	南埼玉
		葉菜類で検査済	谷田部・茨城・たまつくり・有機農法ギルド・やさと・利根川・沃土・村悟空・佐原・八街・風土の会
		検査予定	常総
	白菜	葉菜類で検査済	谷田部・茨城・有機農法ギルド・常総産直・野菜くらぶ・八街・風土の会
		検査予定	埼玉産直
	ブロッコリー	品目で検査済	谷田部・茨城・常総産直・野菜くらぶ・沃土・埼玉産直・村悟空・海上・佐原・八街・和郷
		検査予定	たまつくり・南埼玉・サンド旭
	ハッピーリーフ	品目で検査済	フェニクス・レインボー
	ほうれん草	品目で検査済	草の会
		葉菜類で検査済	谷田部・茨城・有機農法ギルド・たまつくり・常総産直・やさと・利根川・野菜くらぶ・沃土・佐原・八街・和郷・風土の会
		検査予定	二本松
みず菜	品目で検査済	ふきのとう	
	葉菜類で検査済	谷田部・茨城・沃土・佐原	

分類	品目名	放射能検査の状況	
葉菜	ルッコラ	葉菜類で検査済	茨城・沃土・南埼玉・和郷
	レタス	品目で検査済	やさと・野菜くらぶ・和郷
		葉菜類で検査済	谷田部・茨城・常総産直・沃土・南埼玉・海上・佐原・サンド旭
	若芽ひじき	品目で検査済	寺島
	かぶ	品目で検査済	谷田部・たまつくり・沃土・佐原・八街
		根菜類で検査済	茨城・海上・和郷・風土の会
	ごぼう	品目で検査済	茨城・清瀬
		根菜類で検査済	常総・谷田部・たまつくり・やさと・佐原・和郷
	さつまいも	根菜類で検査済	常総・谷田部・茨城・たまつくり・佐原・和郷
	里芋・海老芋	根菜類で検査済	常総・谷田部・茨城・有機農法ギルド・たまつくり・佐原・八街・風土の会
		検査予定	あゆみの会・遠州
根菜	しょうが	根菜類で検査済	村悟空・和郷
	大根	品目で検査済	有機農法ギルド・野菜くらぶ・沃土・海上・佐原・和郷
		根菜類で検査済	常総・谷田部・茨城・たまつくり・村悟空・八街・風土の会
		検査予定	二本松・あゆみの会
	長芋	根菜類で検査済	常総・谷田部・茨城
	自然薯	検査予定	えちご上越
	人参	品目で検査済	常総・清瀬
		根菜類で検査済	谷田部・茨城・有機農法ギルド・たまつくり・やさと・常総産直・沃土・村悟空・海上・佐原・八街・和郷・農法の会・風土の会・グットファーム
		検査予定	あゆみの会
	にんにく	品目で検査済	八峰園・田子
れんこん	品目で検査済	常総・有機農法ギルド・たまつくり・新ひたち野・あゆみの会・佐原	

●2016 年産米の検査

検査対象の産直産地のお米の検査を玄米で行い、検査が終了した 2016 年産の下記の産地・銘柄については**すべて不検出です。**

青森県:JA津軽みらいの青森つがるロマン
岩手県:JAいわて花巻の岩手ひとめぼれ、JA新しいわての岩手いわてっこ
宮城県:JAみどりの宮城ひとめぼれ
秋田県:JAこまちの秋田あきたこまち・オーリア 21 の秋田あきたこまち・花咲農園の秋田あきたこまち・JA秋田ふるさとの秋田あきたこまち、JAかづのの秋田淡雪こまち
山形県:JA庄内たがわの山形はえぬぎ、JA山形おきたまの山形ササニシキ、庄内協同ファームの山形つや姫
福島県:JA会津よつばの会津こしひかり
新潟県:JA北蒲みなみの新潟こしひかり・JAささかみの新潟こしいぶき・JAにいがた南蒲の新潟こしひかり・JA魚沼みなみの魚沼こしひかり・JAえちご上越の新潟こしひかり・謙信の郷の新潟こしひかり・JA佐渡の佐渡こしひかり
茨城県:JAつくば市谷田部の茨城こしひかり
栃木県:日本の稲作を守る会の栃木こしひかり(19 検体中 17 検体不検出)
千葉県:JA君津市の千葉ふさおとめ・ちば緑耕舎の千葉こしひかり
埼玉県:南埼玉産直ネットワークの彩のかがやき
長野県:JA佐久浅間の長野こしひかり

放射能は玄米のぬかにたまる傾向があります。玄米で検査後、供給は白米および玄米で行います。

●青果の検査について

*北海道を除く東日本(新潟県・長野県・静岡県以东の本州 17 都県)のカタログ掲載産地において、分類ごとに一品目以上検査をしています。報告の時点で検査が間に合わない品目については、供給前までには放射能検査を実施します。
*旬のある果物などの検査は、シーズンでの収穫の時期のみになりますが、それ以外はおおよそ半年に1回以上の頻度で検査を行なっています。検査の日付は省略しています。
*検査対象外地域でも放射能検査を実施している場合がありますが、掲載は省略しています。

***yumyum 果物セットにセットされている果物は、検出下限値 1Bq/kg で検査を行っています**

●きのこ類

放射能が検出されていない産地(3Bq/kg 以下)

品目名	放射能検査の状況	
えのき茸	品目で検査済	飯山
エリンギ	品目で検査済	小川きのご・南伊豆・渡辺きのご
徳用きのこセット	品目で検査済	谷田部・丸金グループ
		*しいたけ・しめじから放射能が検出されました
なめこ	品目で検査済	谷田部
生きくらげ	品目で検査済	きのご総研
ぶなしめじ	品目で検査済	谷田部
ささかみのまいたけ	品目で検査済	ささかみ
山えのき	品目で検査済	有倉

●青果以外の牛肉・卵・食肉類および、加工品の対象商品はすべて検査をしています。

*酒類はみりんと料理酒を検査対象としています。

●検出された商品

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
生しいたけ(原木栽培)	谷田部	2016/11/2	8.3
徳用生しいたけ(原木栽培)			
お料理セットの生しいたけ			
徳用きのこセットのしいたけ			
谷田部の原木しいたけ(はねだし)			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

*2016/11/9 の検査では、生しいたけ(原木栽培)からの放射能検出はありませんでした。

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
しめじ(ひらたけ)	谷田部	2016/9/23	3.3
徳用きのこセットのしめじ			
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
コア・フード 栃木こしひかり	日本の稲作を守る会	2016/10/21	3.9
パルシステムの独自ガイドライン			10
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
120 粒:185485 240 粒:185493	ブルーベリー&ルティン	2016/11/1	6.5
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコ 276 きなり 326 きなりセレクト 341096	豚のチンジャオロースセットのしいたけ	2016/10/31	3.8
コトコ 275 きなり 321	これにおまかせすき焼きセットのしいたけ		
コトコ 284 きなり 112216	野菜たっぷりのつけごはんセットのしいたけ	2016/11/2	8.3
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

●青果の検査分類表

大分類	中分類	代表的な品目名
果実(くだもの)	—	みかん、りんご、いちごなど
果菜	果菜	きゅうり、トマト、なす、オクラなど
	未成熟豆類	枝豆、いんげん、スナップえんどうなど
葉菜	結球性・非結球性葉菜	アスパラ、キャベツ、白菜、ほうれん草、小松菜、ねぎなど
	花蕾・莖菜	ブロッコリーなど
根菜・いも類	根菜	玉ねぎ、人参、しょうがなど
	いも類	さつまいも、里芋など

行政検査の重要性

2016 年 9 月に消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省主催で、「食品中の放射性物質に対する取組と検査のあり方を考える」が東京で開催されました。機器のコスト負担や検出件数が少なくなったことなどから、検査縮小の方向性が話されていました。震災直後は、放射能の降下により多くの食品に放射能の検出がみられましたが、現在は一部の食品以外の放射能は減少しました。しかし、思わぬところから放射能を含んだ食品が流通するという状況になっています。生産管理された食品では放射能の検出は少ないですが、野山などの野生の動植物、採取禁止区域から採捕したものを放射能検査の結果を確認せずに小売店から購入したり、自家消費したりするのはとても危険です。

- 一般に流通してしまう危険

行政検査や市民検査所の検査が縮小されていくと、一般に流通されていても気が付かれない可能性があります。行政検査はすべての商品を対象にしていないためです。

行政の検査で**2016 年にもっとも高い放射能が検出されたのは福島県福島市の「コウタケ(香茸)」で 16,842Bq/kg でした**。コウタケは、きのこ類の中でも放射能をもっとも吸収しやすい種類なのかと思われます。次に高い濃度のものは、クリフウセンタケやタマゴタケで、どちらも 3,000Bq/kg 程度です(福島市ホームページの「ご家庭の食品に含まれる放射性物質の測定結果をお知らせします(10 月 14 日更新)」より)。

2016 年 5 月には、宇都宮市の小学校の給食に使用されたタケノコから 234Bq/kg の放射能が検出されました。子どもたちに供された後で結果がわかりましたが、タケノコは出荷制限区域のものが混入していたことが原因とされています。

採取禁止区域や出荷制限区域とされている場所は地図でしめされているだけなので、間違って採取する可能性は今後もあると考えられます。

震災から 5 年半が過ぎていますが、注意すべきものが何か知っていくことはとても重要です。

行政検査の検出情報

- 厚生労働省発表「食品中の放射性物質の検査結果について(第 1005)」(2016/1/6～10/28 で採取・購入された検体検査)より国の定めた基準値セシウム合計 100Bq/kg 合計 100Bq/kg 以上検出された品目は以下の通りです

ショウゲンジ:山梨県富士吉田市・富士河口湖市 260～970Bq/kg
アマタケ:山梨県富士河口湖市 210Bq/kg
アカモミタケ:山梨県鳴沢村 160Bq/kg
ツキノワグマ肉:群馬県前橋市・みどり市ほか 120～260Bq/kg
イノシシ肉:宮城県山元町・茨城県高萩市ほか 110～120Bq/kg

- 国の定めた基準値セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された検体の上位数点です。

クリタケ:山梨県西桂町 66Bq/kg
キハツタケ:山梨県富士河口湖町 65Bq/kg
カヤタケ:山梨県富士吉田市 64Bq/kg
ウラベニホテイシメジ:山梨県丹波山村・小菅村 19・60 Bq/kg
アイシメジ:山梨県鳴沢村 56Bq/kg
ショウゲンジ:山梨県南アルプス市 54Bq/kg
タマゴタケ:山梨県山中湖村 36・53 Bq/kg
ヌメリスギタケモドキ:山梨県都留市 52 Bq/kg
原木シイタケ:栃木県茂木町ほか 2.8～41 Bq/kg
ナラタケ:山梨県鳴沢村 35 Bq/kg
ヌメリササタケ:山梨県北杜市 35 Bq/kg
クロカワ:山梨県山中湖村 34 Bq/kg
ハナイグチ:山梨県北杜市 31 Bq/kg
マツタケ:山梨県富士河口湖町・鳴沢村ほか 7.2～28Bq/kg
ホテイシメジ:山梨県甲斐市 26 Bq/kg
チャナメツムタケ:山梨県北杜市 26 Bq/kg
ナメコ:埼玉県秩父市・栃木県日光市ほか 4.4～24 Bq/kg
ワタゲナラタケ:新潟県魚沼市 23Bq/kg
ムキタケ:山形県山形市・岩手県盛岡市 16・21Bq/kg
ヒラタケ:栃木県鹿沼市・那須塩原市 5.4・21Bq/kg
アメリカナマズ:茨城県霞ヶ浦(西浦) 59Bq/kg
ワカサギ:群馬県赤城大沼・榛名湖・栃木県中禅寺湖・茨城県霞ヶ浦 6.8～45 Bq/kg
スズキ:茨城県神栖市太田地先・宮城県石巻漁港・三陸沖ほか 1.5～37Bq/kg
ギンブナ:茨城県霞ヶ浦(西浦) 27Bq/kg
イノシシ肉:茨城県笠間市・宮城県丸森町ほか 5～92Bq/kg
ニホンジカ肉:群馬県前橋市・片品村 9.9～71Bq/kg
ツキノワグマ肉:新潟県湯沢町・群馬県片品村ほか 22～58Bq/kg

- 福島県の緊急調査で国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 以上検出された品目は以下の通りです

イノシシ肉:福島県相馬市・南相馬市ほか 160～3100Bq/kg
ヤマドリ肉:福島県福島市 190Bq/kg

国の定めた基準値セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された検体の上位数点です。

原木シイタケ:福島県相馬市・南会津町ほか 3～41Bq/kg
ムキタケ:福島県会津美里町・下郷町ほか 4.1～32Bq/kg
ナメコ:福島県北塩原村・伊達市ほか 5.7～22Bq/kg
イワナ:福島県福島市天戸川(阿武隈川水系)ほか 11～49Bq/kg
ウグイ:福島県会津若松市猪苗代湖ほか 19・20Bq/kg
ヤマドリ肉:福島県福島市 87Bq/kg
ツキノワグマ肉:福島県郡山市・西会津町ほか 6.3～81Bq/kg
イノシシ肉:福島県猪苗代町・塙町ほか 8.2～79Bq/kg
キジ肉:福島県福島市 12・23Bq/kg

10月～11月の放射能検査状況

10月は、しいたけは原木しいたけから3件(6. 9. 8. 1. 8. 1Bq/kg)、お料理セットのしいたけから3件(3. 8. 4. 3. 8. 1Bq/kg)の検出がありました。**米からは、栃木こしひかり(玄米)から2件(3. 9. 4. 1Bq/kg)の検出がありました。**その他からの放射能の検出はありませんでした。検出された産地の米は、白米で検査を行い**不検出**でした。

11月は、4日までで、しいたけからは原木しいたけから1件(8. 3Bq/kg)の検出がありました。**その他加工食品からはキューピーブルーベリー＆ルティンから1件(6. 5Bq/kg)の検出がありました。**乳幼児用食品は、検出下限値を4月から1Bq/kg に下げましたが、現在まですべて不検出です。

検出された商品は、すべて自主基準以内の検出でした。

放射能検査の状況(検査件数、かつこ内は検出数、網がけは検出された分類)					
	10月	11月		10月	11月
青果	44 (0)	15 (0)	卵	0 (0)	0 (0)
しいたけ	7 (6)	1 (1)	魚介類	34 (0)	11 (0)
他のきのこ類	12 (0)	0 (0)	飲料水・飲料	3 (0)	4 (0)
米・米飯類	37 (2)	0 (0)	乳幼児用食品	26 (0)	7 (0)
牛乳・乳製品	10 (0)	5 (0)	その他加工食品	260 (0)	58 (1)
肉類	8 (0)	0 (0)	合計	441 (8)	101 (2)

2016年度の放射能検査の状況

青果	2016 年 5 月に小田原のバレンシアオレンジの 3 件中 1 件から 3.2Bq/kg が検出されました。2016 年 1 月に小田原の伊予柑から 5.3Bq/kg、2016 年 2 月に小田原のはっさくから 4.8Bq/kg が検出されました。
しいたけ、他のきのこ	生しいたけ(3. 1～12Bq/kg)、しめじ(ひらたけ)が(3. 3～3. 5 Bq/kg)で放射能が自主基準内で検出されました。他のきのこ類は放射能不検出です。
米	2016 年産米の検査は 26 産地 65 検体の検査を行いました。日本の稲作を守る会の栃木こしひかり(玄米)を検査したところ、2 件(3. 9. 4. 1Bq/kg)の検出がありました。検出された産地の米は、白米で検査を行い不検出でした。 ＊放射能はぬか部分に多く蓄積します。検出されました栃木こしひかりは、不検出が確認されました白米でのお届けとなります。
牛乳、肉、卵	産地ごとに定期的に検査し今年度放射能は検出されていません。
魚介類	魚介類で放射能は検出されていません。
乳幼児用食品	検出下限値 1Bq/kg で検査を行っておりますが、すべて不検出です。
その他加工食品	＜お料理セット＞ 肉・豆腐などは定期的に検査を行っています。野菜のみを毎月検査を別途行っています。菌茸類については毎週検査を行っており、しいたけおよびしいたけ水煮(3. 4～11Bq/kg)から自主基準内ですが検出しています。その他の菌茸類からの検出はありません。
	＜大豆加工品＞ 豆腐、納豆、味噌、醤油など大豆加工品は、2014年産および2015年産原料で検査を行っているものと、製品で検査をおこなっているものとがありますが、放射能は検出されていません。
	＜その他＞ サプリメントのブルーベリー＆ルティン(6. 5Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。

パルシステムの放射能検査について

●独自ガイドライン(自主基準)と検出限界について

パルシステムでは食品の残留放射能について独自ガイドライン(自主基準)を設定しています。放射線にはこれ以下なら安全という「しきい値」がないので、基準以下であっても、放射能低減を追求します。検査の結果、自主基準を超えるものについては供給いたしません。また、独自ガイドラインは継続的に見直しを行ないます。

自主基準(独自ガイドライン)(セシウム 134,137 の合計)			国の規格基準	
2014 年 10 月より現行基準		現	旧	
水、飲料、牛乳、乳製品、米、乳幼児用食品		10	10	水、飲料茶 10 乳児用食品、牛乳 50
青果類(きのこ類除く)、肉類、卵、魚介類、その他食品、きのこ類(しいたけ除く)		25	50 100	一般食品 100
しいたけ		100		

＊乾燥食品は生原料や摂食状態で検査します。(単位 Bq/kg)
乳幼児用食品は「yumyum」掲載商品とインターネットの赤ちゃん推奨商品。

検出限界(セシウム 134, 137 それぞれ)		
2016 年 4 月 1 日から新基準に変更		新 旧
乳幼児用食品		1
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、肉類、卵、魚介類、その他食品		3 3

●放射能検査の対象範囲について

農畜産物とその加工品	北海道を除く東日本産(新潟・長野・静岡以东の本州産)
水産物とその加工品	日本沿岸・近海・一部の北太平洋・淡水産水産物

新規加入の組合員 のみなさんへ	新しく加入された組合員のみなさんには初回ご利用から毎月 1 回企画発行の「パルシステム放射能レポート」をお届けしています。継続配付をご希望の方は注文番号 190888 でお申し込みください。タペソダではお届けしておりません。「放射能関係のお知らせ」はオンラインのみのご案内になります。
--------------------	---

＊「放射能関係のお知らせ」が静電気の影響で数枚入ってしまうことがあります。ご了承ください。